

2023年度 課題研究指導実施方針

教 員 名	國方 明
指 導 分 野	<p>本課題研究指導では、金融を題材にした実証分析の指導を行う。例えば、日本金融学会『金融経済研究』各号、小倉(2021)、植杉(2022)と植田(2022)に、金融を題材にした実証分析が載っている。本課題研究指導の履修を希望する人は、春学期履修登録期限までに、一部分で構わないのでこれら文献を読み、実証分析のイメージを掴んでもらいたい。</p> <p>なお、実際の指導では、上記文献にこだわらず、各人の修士論文または研究調査のテーマに関連する文献を取り上げる予定である。</p> <p>文献リスト(3冊全て、新品を購入可能。本学図書館に所蔵済み。):</p> <p>植杉威一郎(2022)『中小企業金融の経済学』日本経済新聞出版社.</p> <p>植田健一(2022)『金融システムの経済学』日本評論社.</p> <p>小倉義明(2021)『地域金融の経済学』慶應義塾大学出版会.</p>
指 導 方 針 (指 導 の 概 要 ・ 日 程 等)	<p>[修士論文]</p> <p>安井(2022)に基づき、実証論文の執筆過程を次の6段階に分ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究テーマと仮説の設定 2. 先行研究の収集と展望 3. データの収集 4. データの整理と統計分析 5. 分析結果の解釈 6. 4および5と並行して、論文の執筆。 <p>本課題研究指導では、上の6段階それぞれについて指導を行う。</p> <p>日程については、原則として、第1段階～第3段階にかかわる指導を春学期中に行い、第4段階～第6段階にかかわる指導を春学期終了後に行う予定である。但し、修士論文を完成させるために必要と判断する場合、この日程を変更する可能性が有る。</p> <p>文献リスト(新品を購入可能。本学図書館に所蔵済み。):</p> <p>安井健悟(2022)「ミクロ実証論文執筆の落とし穴とアドバイス」経済セミナー編集部編『経済論文の書き方』日本評論社, pp. 79-86.</p>
	<p>[研究調査]</p> <p>修士論文に準じた指導を行う。</p>